

保証書

コーヒーマーカー保証書

持込修理

取扱説明書・本体表示などの注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理いたします。製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にお申しつけください。この製品は持込修理対象製品ですので、郵送などで修理依頼された場合の送料などはお客様負担となります。

| | | | |
|------------------|---------------|--|------|
| 型名 | EC-MA60 | | 修理メモ |
| ※お客様 お名前 | 電話番号 | | |
| ご住所 〒 | | | |
| ※お買い上げ日 | ※販売店名・住所・電話番号 | | |
| 年月日 | | | |
| 保証期間 お買い上げ日より | 本体1年 | | |

※印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

- 1.ご転居・ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社のお客様ご相談窓口にご連絡ください。
- 2.保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りや不当な修理・改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害・塩害・虫害・ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧・指定外の使用電源(電圧・周波数)などによる故障および損傷。
 - (ニ) 一般家庭用以外(たとえば業務用など)に使用された場合の故障および損傷。
 - (ホ) 車両・船舶などに搭載された場合の故障および損傷。
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合。
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
 - (チ) 消耗品などの交換。
- 3.本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 4.本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

- お客様にご記入いただいた記載内容は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

象印マホービン株式会社

〒530-8511 大阪市北区天満1丁目20番5号 電話 (06) 6356-2451

愛情点検

長年ご使用のコーヒーマーカーの点検を!



こんな症状はありませんか

- ご使用中、コード・差込みプラグが異常に熱くなる
- 焦げくさいにおいがする
- 製品の一部に割れ・がたつき・緩みがある
- その他の異常や故障がある

ご使用中止

こんな症状のときは、故障や事故防止のため、使用を中止し、コンセントから差込みプラグを抜いて、必ず販売店に点検(有料)をご相談ください。

EC-MA 型 ©B/A



家庭用

コーヒーマーカー

珈琲通®

型名 EC-MA60 型

取扱説明書

保証書つき



- このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保管してください。

「ZOJIRUSHIオーナーサービス」で製品登録をお願いいたします。

ZOJIRUSHIオーナーサービスではご登録いただいたお客様に消耗部品の特別価格販売など様々な特典をご用意しています。

[ZOJIRUSHIオーナーサービスウェブサイト]

<https://www.zojirushi-support.jp/>



- 「ZOJIRUSHIオーナーサービス」の登録についてはパソコン・スマートフォン・タブレットといった機器が必要です。
- 本サービスは、日本国内に居住する個人のお客様に限り、日本国内でのみ利用可能です。

もくじ

お使いになる前に

- 安全上のご注意 2
- 各部のなまえ 5
- お使いになる前に 6
- 各部のはずし方・つけ方 7

使い方

- 使い方 9

お手入れ

- お手入れ 11
- クエン酸洗浄のしかた 13

困ったときに

- 故障かなと思ったとき 13
- 部品の交換・購入について 14
- 仕様 14
- アフターサービス 15
- お客様ご相談窓口 15
- 保証書 裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を、次の区分で説明しています。

| | |
|--------------------------------|--|
| 警告 死亡や重傷に結びつく恐れがある内容です。 | 注意 軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく恐れがある内容です。 |
|--------------------------------|--|

■お守りいただく内容を、次の区分で説明しています。

| | |
|--------------------|------------------------|
| ⊘ してはいけない「禁止」内容です。 | ❗ 実行しなければならない「指示」内容です。 |
|--------------------|------------------------|

警告

| | |
|---|---|
| <p>⊘ 改造はしない。また修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない 火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。</p> <p>本体を水に浸けたり、水をかけたりしない ショート・感電の原因になります。</p> <p>コードや差し込みプラグを液体に浸けたり、液体をかけたりしない ショート・感電の原因になります。</p> <p>ぬれた手で差し込みプラグを抜き差ししない 感電・けがの恐れがあります。</p> <p>蒸気口に触ったり、手や顔を近づけたりしない やけどの恐れがあります。特に乳幼児には触らせないようにご注意ください。</p> | <p>⊘ 子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使用したりしない やけど・けが・感電の恐れがあります。</p> <p>⊘ 交流100V以外では使用しない 火災・感電の原因になります。</p> <p>⊘ ガラス容器なしで使用しない コーヒーがこぼれたり、やけどの恐れがあります。</p> <p>⊘ コードを傷つけない 無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、高温部に近づけたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりするとコードが破損し、火災・感電の原因になります。</p> <p>⊘ コードや差し込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しない 感電・ショート・発火の原因になります。</p> |
|---|---|



| | |
|--|---|
| <p>❗ 定格15A以上のコンセントを単独で使用する 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して、発火の原因になります。</p> <p>差し込みプラグは根元まで確実に差し込む 感電・ショート・発煙・発火の原因になります。</p> | <p>❗ 差し込みプラグの刃(プラグの先端)および刃の根元にほこりが付着している場合は、よくふく 火災の原因になります。</p> |
|--|---|

● お買い上げの製品と本書に記載したイラストは異なることがあります。

警告



異常・故障時には直ちに使用を中止する

そのまま使用すると、発煙・発火・感電・けがの原因になります。

<異常・故障例>

- コードや差し込みプラグが異常に熱くなる
- コードに深い傷や変形がある
- 焦げくさいにおいがする
- 製品の一部に割れ・がたつき・緩みがある
- コードを動かすと、通電したりしなかったりする
- スイッチを入れても動かない
- 本体から水漏れする
- 本体が変形したり、異常に熱くなる

このような場合は、すぐに差し込みプラグを抜いて、販売店に必ず点検・修理を依頼する

注意



熱に弱い敷物の上では使用しない

火災の原因になります。

不安定な場所では使用しない

やけど・けがの恐れがあります。

火気の近くで使用しない

火災の原因になります。

壁や家具の近くで使用しない

蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。

他の電気機器に蒸気が当たる場所では使用しない

蒸気により、電気機器の火災・故障・変色・変形の原因になります。

本体・ガラス容器を電子レンジで使用したり、直火(ガス台など)や電気ヒーター・IH調理器・IHクッキングヒーターなどの上に載せない

発煙・発火・とっ手の変形・金属部から火花が飛び散る原因になります。

ガラス容器を載せたまま本体を動かさない

やけど・けがの恐れがあります。

使用中や使用後しばらくは高温部(保温板・スイングバスケット・ガラス容器(とって以外)など)に手を触れない

やけど・けがの恐れがあります。

使用中や使用後しばらくは湯出口の下に手を入れない

湯が垂れて、やけどの恐れがあります。

水タンクに水を入れて取りつけたあとは、本体からはずしたり、動かしたりしない

やけど・水漏れ・故障の原因になります。

ドリッピング中にガラス容器をはずさない

やけどの恐れがあります。

ドリッピング中は水をつぎ足さない

コーヒーがあふれて、やけどの恐れがあります。

ドリッピング直後にペーパーフィルターを直接触らない

やけどの恐れがあります。

安全上のご注意 つづき

⚠ 注意



使用時以外は、差込みプラグをコンセントから抜く

やけど・けが・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

お手入れは冷めてから行う

高温部に触れ、やけどの恐れがあります。

差込みプラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って引き抜く

感電・ショート・発火の原因になります。

お願い

■屋外で使用しない
故障の原因になります。

■水にぬれた場所で使用しない
感電の恐れがあります。

■カーペット・布製のテーブルクロスの上では使用しない
コーヒーが飛び散る原因になります。

■テーブルからはみ出した状態で使用しない
やけど・けがの恐れがあります。

■空だきはしない

保温時以外に水タンクに水を入れずに通電すると、故障の原因になります。

■水タンクに水以外のものを入れない

牛乳・酒・コーヒー・湯など、水以外のものを水タンクに入れると、故障の原因になります。

■水タンクに水を入れたまま放置しない
故障・変色・におい・腐敗の原因になります。

■ガラス容器は、落としたり固いものにぶつけたりしない
ガラスが割れて、けがの恐れがあります。

■ガラス容器が熱いうちに水の中に入れてたり、水をかけたり、ぬれた場所に置かない
傷がつくと破損しやすくなります。もし割れた場合は、取り除くときに手を切らないように十分ご注意ください。

■傷がつくと破損しやすくなります。もし割れた場合は、取り除くときに手を切らないように十分ご注意ください。

■連続してコーヒーを作るときはスイッチを「切」にして、本体を5分以上冷ましてから使用する

本体が熱いうちに給水したり動かし続けると、浄水フィルターから突然蒸気や熱湯が出て、やけどの恐れがあります。

■使い終わったら、必ずスイッチを切り、差込みプラグをコンセントから抜く

長時間通電を繰り返されると故障の原因となり、異常過熱や発煙する場合があります。

コーヒー粉について

■細挽き粉を使用しない

コーヒーがあふれて、やけどの恐れがあります。デカフェ・カフェインレス・浅煎りなど粉の種類によってはあふれやすいものがあります。その場合は、作るコーヒーの量(カップ数)を減らしてください。

■計量スプーンのコーヒーカップ用すりきり5½杯(約44g)を超えるコーヒー粉を入れない
コーヒーがあふれて、やけどの恐れがあります。

ミネラルウォーターの使用について

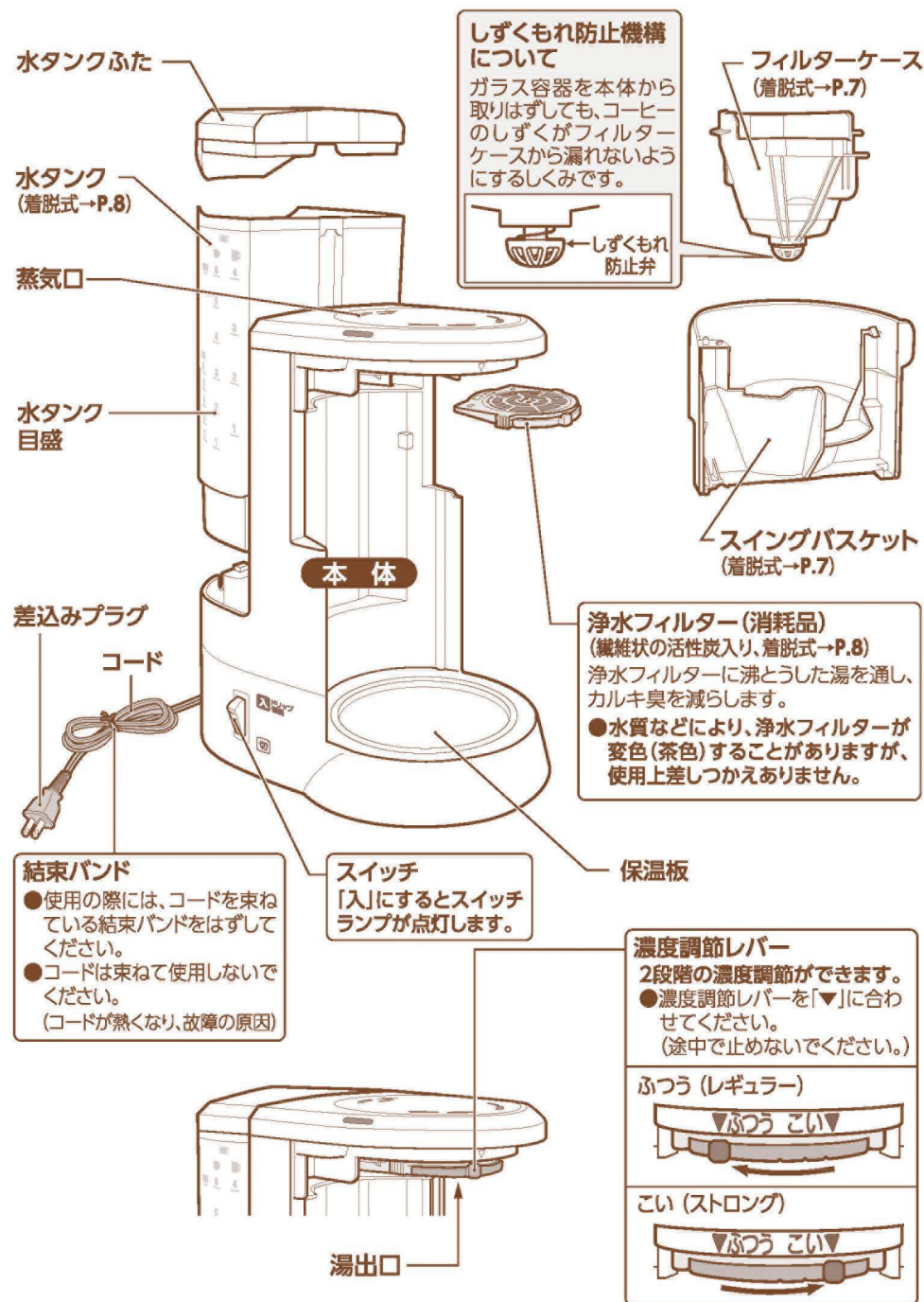
■硬度200以上のものは使用しない

製品内部の水管にミネラル分が付着して、ドリップ時間が長くなったり、最後までドリップできなくなる場合があります。

■できるだけ硬度100以下のものを使用する

■使用中にドリップ時間が長く感じたら、クエン酸洗浄を行う→P.13

各部のなまえ



各部のなまえ つづき



| できあがり量の目安 | |
|------------|--------|
| コーヒーカップ 1杯 | 約120mL |
| マグカップ 1杯 | 約180mL |
| アイスコーヒー 1杯 | 約 60mL |

付属品

計量スプーン
すりきり1杯 約8g



お使いになる前に

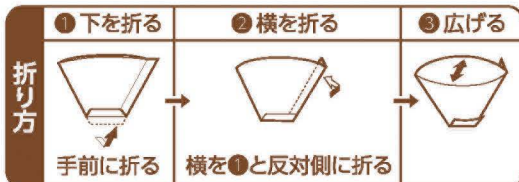
- 使いはじめはプラスチックのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。
- 黒い粉が落ちることがありますが、これは浄水用の活性炭で無害ですので使用上差しつかえありません。

- 初めてお使いになるとき
①浄水フィルター・ガラス容器・フィルターケースなどを洗う→P.12
- 長期間お使いにならなかつたとき
②水だけで1~2回ドリップして本体内部を洗浄してください。

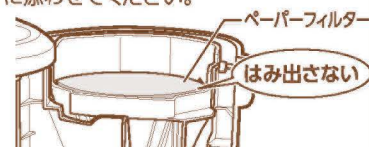
ペーパーフィルターについて

ペーパーフィルターは、市販の1×2(2~4杯用)、または102(2~4人用)をお求めください。

■ペーパーフィルターの組み立て方



- ペーパーフィルターを2枚以上重ねて使用しないでください。
- ペーパーフィルターがフィルターケースからはみ出さないように折り幅を調節し内側を軽く押さえて、フィルターケースに添わせてください。



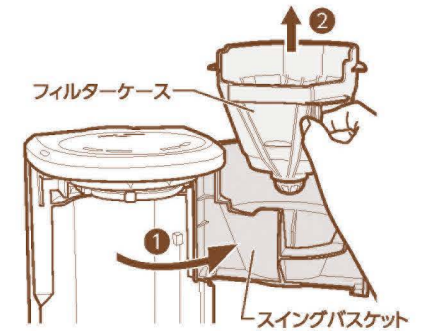
各部のはずし方・つけ方

ガラス容器をはずしてから行ってください。

フィルターケース

はずし方

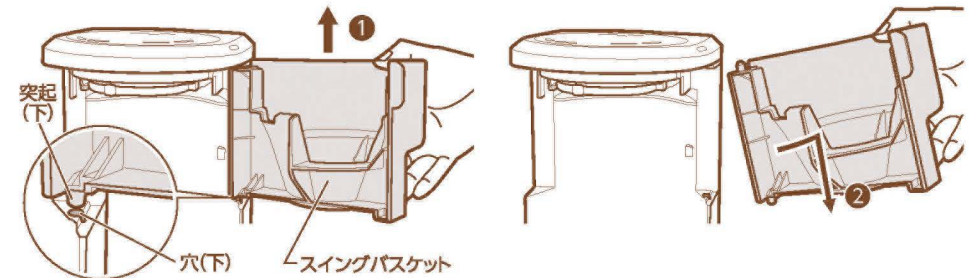
- ①スイングバスケットを開ける
- ②フィルターケースを取りはずす



スイングバスケット

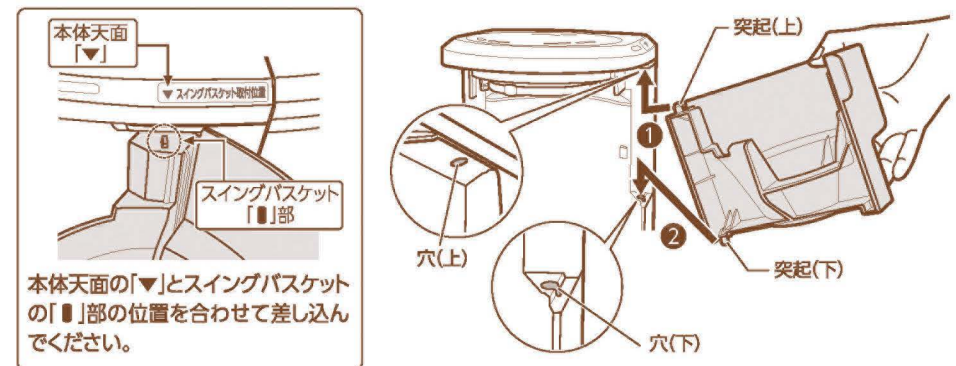
はずし方

- ①スイングバスケットを全開にし、持ち上げて突起(下)を浮かせる
- ②スイングバスケットを矢印の方向にずらして下方にはずす



つけ方

- ①突起(上)を本体の穴(上)に差し込む
- ②突起(下)を本体の穴(下)に合わせてはめ込む



本体天面の「▼」とスイングバスケットの「■」部の位置を合わせて差し込んでください。

各部のはずし方・つけ方 つづき

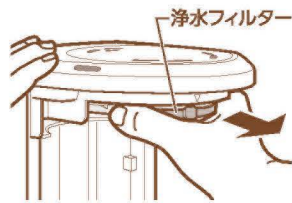
浄水フィルター

ガラス容器・フィルターケース・スイングバスケットをはずしてから行ってください。

はずし方

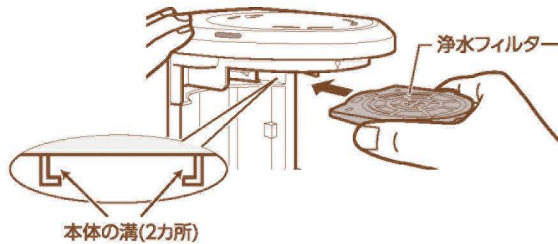
本体を押さえて、浄水フィルターを図のように持ち手前に引き抜く

- 本体が十分に冷めてからはずしてください。(やけどの恐れ)
- 本体が倒れないように注意してください。
- 浄水フィルターから水が出る場合があるので注意してください。



つけ方

本体を押さえて、浄水フィルターを本体の溝(左右2カ所)に沿わせて奥まで差し込む



水タンク

はずし方

本体を押さえて水タンクを持ち上げる



つけ方

①水タンク穴部を本体凸部に確実に合わせる



②本体に沿ってまっすぐ根元まで差し込む



- 水タンクは根元まで差し込んでください。(故障・ドリップ中に湯が出ない原因)

使い方

本コーヒーメーカーは豆本来の味わいを引き出すため、ドリップのときの湯温を高く設定しています。そのためコーヒー豆に含まれる油分がコーヒー表面に浮くことがあります。コーヒーの味、その他に影響はありません。

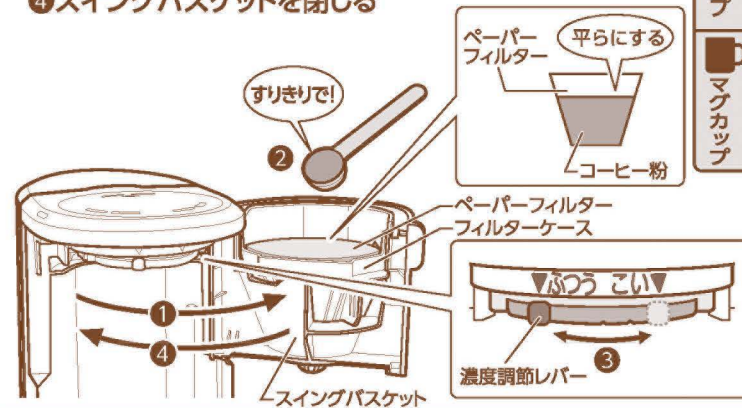
1 コーヒー粉を入れ、濃度を設定する

- 浄水フィルターが本体に取りつけられていることを確認してください。(ドリップ中に湯が飛び散る原因)

- ①スイングバスケットを開き、フィルターケースにペーパーフィルターを取りつける
- ②コーヒー粉を付属の計量スプーンで上面が平らになるように入れる
- ③濃度調節レバーで濃度を設定する→P.5
- ④スイングバスケットを閉じる

標準使用量

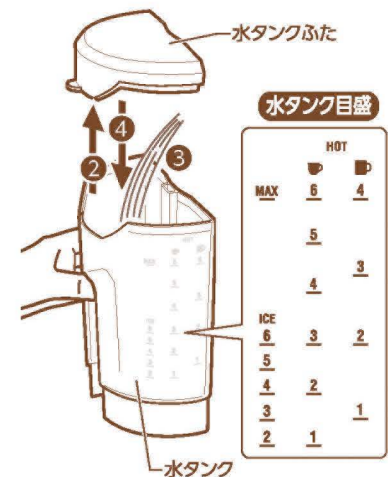
| | カップ数 | コーヒー粉量 (計量スプーン) |
|--------------|------|--------------------|
| ☕ コーヒーカップ | 6 | 5½杯 (約44g) |
| | 5 | 4½杯 (約36g) |
| | 4 | 3½杯 (約28g) |
| | 3 | 3杯 (約24g) |
| | 2 | 2杯 (約16g) |
| ☕ マグカップ | 1 | 1杯 (約8g) |
| | 4 | 5½杯 (約44g) |
| | 3 | 4杯 (約32g) |
| | 2 | 3杯 (約24g) |
| | 1 | 1½杯 (約12g) |



2 水タンクに水を入れる

- ①水タンクを本体からはずす→P.8
- ②水タンクふたを取る
- ③作るコーヒーの量の水タンク目盛まで水を入れる
- ④水タンクふたを取りつける

- 水タンク目盛の「MAX」を超える水を入れしないでください。またドリップ中は水タンクに水をつぎ足さないでください。(ガラス容器からコーヒーがあふれる原因)
- 水タンクに湯を入れしないでください。(故障の原因)
- ガラス容器目盛は、コーヒーのできあがる量の目安を示しています。



水タンク目盛

| | HOT | |
|-----|-----|---|
| | ☕ | ☕ |
| MAX | 6 | 4 |
| | 5 | |
| | 4 | 3 |
| ICE | 6 | 2 |
| | 5 | |
| | 4 | 2 |
| | 3 | 1 |
| | 2 | 1 |

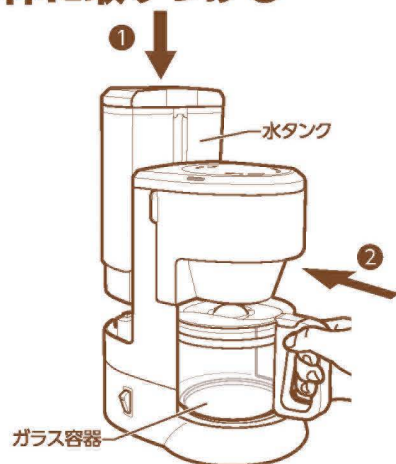
使い方 つづき

3 水タンク・ガラス容器を本体に取りつける

①水タンク穴部を本体凸部に合わせて、根元までしっかりと差し込む→P.8

②ガラス容器を保温板に載せる

- ガラス容器は保温板にこすれないように載せてください。
- ガラス容器には必ずガラス容器ふたを取りつけてください。
(しずくもれ防止弁が開かずフィルターケースからコーヒーがあふれる原因)
- ガラス容器は、しずくもれ防止弁に無理な力を加えないように静かに載せてください。
- 保温板が汚れたり、水分がついたりした状態で使用しないでください。
(保温板の塗装のはがれ・変色の原因)



差し込みプラグをコンセントに差し込み、

4 スイッチを入れる

スイッチランプが点灯し、ドリップを開始します。

できあがり時間の目安 (水温・室温約20℃の場合)

| カップ数 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
|-----------|------|------|------|------|------|------|
| ☕ コーヒーカップ | 3.5分 | 4.5分 | 5.5分 | 7分 | 8.5分 | 9.5分 |
| ☕ マグカップ | 4分 | 5.5分 | 8分 | 9.5分 | — | — |

●できあがり時間は、水量・室温・粉の量などでかわります。

5 ドリップが完了したら、スイッチを「切」にする

「切」にするとスイッチランプが消灯します。

6 コーヒーを注ぐ

ガラス容器を取り出して、カップに注ぐ

- フィルターケースからコーヒーが出なくなったら、ガラス容器を取り出してください。
(浄水フィルターから湯が出て、やけどの恐れ)
- ガラス容器は保温板にこすれないように取り出してください。

極端に傾けるとガラス容器ふたがはずれる恐れがありますので注意してください。



●使い終わったら、必ずスイッチを切り、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

長時間通電を繰り返されると故障の原因となり、異常過熱や発煙する場合があります。

■途中でやめるときは…

- ①スイッチを「切」にして、差し込みプラグをコンセントから抜く
- ②フィルターケースからコーヒーが落ちてこなくなったことを確認し、ガラス容器とフィルターケースを取り出す
- ③保温板が冷めてから水タンクに残っている水を捨てる
(水タンクをはずすときに水タンクから水が垂れることがあるので注意してください。)

■保温を続けるときは…

- ①スイッチは「入」にしておく
- ②ガラス容器にガラス容器ふたをしたまま保温する
(長時間保温すると香りがぬげ、風味が悪くなります。保温する時間は15分くらいまでにしてください。)

■熱いコーヒーをお好みの方は…

- あらかじめコーヒーカップを熱湯などであたためておいてから注いでください。
- できあがったらそのまま保温板に載せて保温し、召し上がる直前に注いでください。

■連続してコーヒーを作るときは…

- スイッチを「切」にして、本体を5分以上冷ましてから「使い方」の1より行ってください。→P.9
- 本体が熱いうちに給水したり、動かしたりしないでください。
(浄水フィルターから突然蒸気や熱湯が出て、やけどの恐れ)

●アイスコーヒーの作り方●

準備するもの

- ◆アイスコーヒー用粉
- ◆水

作り方

①「使い方」の1～5と同じ手順でコーヒーを作る

- コーヒー粉の標準使用量は「コーヒーカップ」と同じです。→P.9
- 水量は水タンクの「ICE」の目盛に合わせます。

②グラスに約8分目の氷を入れて、できたてのコーヒーを注ぎ、かき混ぜて冷やす

アイスコーヒーを1カップ分だけ作ることはできません。2～6カップで作ってください。

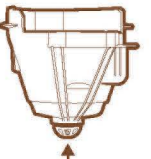


お手入れ

必ず差し込みプラグをコンセントから抜き、本体・保温板が冷めてから行ってください。

- ご使用ごとに必ずお手入れしてください。
- 本体・コード・差し込みプラグに直接水をかけたり、丸洗いはしないでください。(感電・故障の原因)
- 熱湯は使用しないでください。(変形や割れの原因)
- 次のものは使用しないでください。
 - 台所用中性洗剤以外の洗剤・シンナー・ベンジン・漂白剤など(変色・割れ・劣化・腐食の原因)
 - みがき粉・ナイロンたわし・ブラシ・金属製のもの・メラミンスポンジ・スポンジのナイロン面・研磨剤入り洗剤など(表面が傷つく原因)
- 化学ぞうきんを使用する場合は、強くふいたり長時間触れさせたりしないでください。
(表面が傷ついたり、化学変化を起こす原因)
- 食器洗い乾燥機・食器乾燥器は使用しないでください。(部品変形の原因)

お手入れ つづき

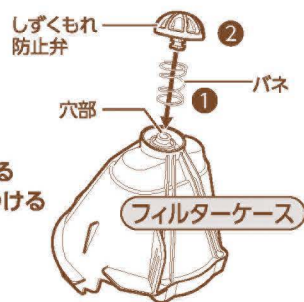
| | |
|--|--|
| 本体 保温板 | <ul style="list-style-type: none"> ①薄めた台所用中性洗剤を乾いた柔らかい布に含ませ、固く絞り、汚れをふき取る ②水を含ませ固く絞った柔らかい布でよくふく ③乾いた柔らかい布で水分をふき取る |
| 浄水フィルター | <p>水で流し洗いし、よく乾燥させる</p> <ul style="list-style-type: none"> ●浄水フィルターが目詰まりしている場合は、交換(有料)してください。水質や使い方により異なりますが、約2年に1回が目安です。(1日1回使用した場合) ●浄水フィルターは分解しないでください。 ●洗剤は使用しないでください。 |
| 水タンク 水タンクふた スイングバスケット ガラス容器 ガラス容器ふた | <ul style="list-style-type: none"> ①薄めた台所用中性洗剤を含ませたスポンジなどの柔らかいもので洗う ②水洗いする ③乾いた柔らかい布で水分をふき取る ●スイングバスケット・ガラス容器ふたは、十分に水切りをしてください。(ドリップ中やコーヒーを注ぐときに水滴が垂れる原因) ●ガラス容器は、落としたり固いものにぶつかけたりしないように注意してください。(ガラスの割れ・けがの原因) |
| フィルターケース  | <ul style="list-style-type: none"> ①薄めた台所用中性洗剤を含ませたスポンジなどの柔らかいもので洗う ②水洗いする ③フィルターケースの中に水を入れ、しずくもれ防止弁を2~3回動かし、汚れを洗い流す ④乾いた柔らかい布で水分をふき取る ●しずくもれ防止弁にコーヒー粉が詰まると、弁が閉まらずコーヒーが漏れることがありますので毎回洗ってください。 ●十分に水切りをしてください。(ドリップ中に水滴が垂れる原因) ●しずくもれ防止弁は引っ張るとはずれる恐れがありますので注意してください。 <p>しずくもれ防止弁</p> |
| コード・差込みプラグ | 乾いた柔らかい布でふく |

フィルターケースのしずくもれ防止弁がはずれたとき

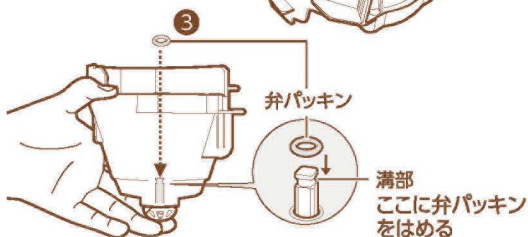
しずくもれ防止弁は分解しないでください。
部品がはずれたときは下記の通りに正しく取りつけてください。

- ①フィルターケースにパネを載せる
- ②しずくもれ防止弁をパネ、フィルターケース穴部に通して入れる
- ③しずくもれ防止弁を押さえた状態で溝部に弁パッキンを取りつける

●弁パッキンが確実に取り付けられていることを確認してください。
(水漏れの原因)



| | | |
|---|----------------|---------|
| ○ | 正しく取りつけた状態 | |
| × | すきまなどから水漏れします。 | 歪んでいる |
| | | はまっていない |



クエン酸洗浄のしかた

●クエン酸洗浄は約3ヵ月に1回が目安です。
水質によりミネラル分がつきやすい場合があります。

水の中に含まれているミネラル分が本体内部の水管に付着すると湯の出具合が悪くなり、コーヒーのドリップ量が少なくなったり、浄水フィルターが目詰まりしやすくなったりします。湯の出が悪くなったら、クエン酸洗浄を行ってください。

- 洗浄の前に必ず浄水フィルターをはずしてください。
浄水フィルターをつけたままクエン酸洗浄を行うとクエン酸のにおいがつき、コーヒーの味がかわる原因になります。また、目詰まりにより、クエン酸溶液が漏れ出す原因になります。
- ドリップ中は本体の外に湯が飛び散ることがあるので注意してください。
- 泡立ち、ふきこぼれ防止のため弊社のパイプ洗浄用クエン酸(コーヒーメーカークリーナー)をお使いください。(別売品)→P.14
クエン酸(100%)は食品添加物として使用されており、衛生上無害ですが食べないでください。

- 1 ガラス容器にクエン酸小さじ1.5杯(約6g)を入れる
 - 2 ガラス容器目盛の「6」までぬるま湯を入れ、クエン酸が溶けるまでよくかき混ぜる
 - 3 クエン酸溶液を水タンクに入れかえ、水タンクふたを取りつける
 - 4 水タンク・フィルターケース・スイングバスケットを本体に取りつけ、ガラス容器(ガラス容器ふたを取りつけた状態)を保温板に載せてスイッチを入れる(ドリップする)
 - 5 クエン酸溶液が水タンク目盛の「1」まで減ったときにスイッチを切る
 - 6 ドリップされたクエン酸溶液が冷めたら、溶液の中に混ざっている白い結晶などを除く
 - 7 クエン酸溶液を再度水タンクに入れ、4~6を繰り返す
 - 8 保温板が十分冷めてから、ガラス容器と水タンク内にあるクエン酸溶液を捨ててすすぎ、クエン酸のにおいを取るために水だけで数回ドリップする(連続してドリップするときは、スイッチを切った状態で5分以上待つ)
 - 9 差込みプラグをコンセントから抜く
- 湯の出が悪い場合は再度クエン酸洗浄をしてください。

故障かなと思ったとき

修理を依頼される前に、一度お調べください。

| こんなときは | お調べいただくこと | 直し方 |
|-------------------|--|-----------------------------|
| スイッチを「入」にしても通電しない | 差込みプラグがコンセントから抜けていませんか? | 差込みプラグをコンセントに差し込んでください。 |
| 湯が出ない 湯が出にくい | 水タンクに水が入っていますか? | 水タンクに水を入れてください。 |
| | 水タンクは正しく取り付けられていますか? | 水タンクを正しく取りつけてください。→P.8 |
| うまく濃度調節ができない | 本体内部の水管などにミネラル分が付着すると湯の出具合が悪くなります。クエン酸洗浄を行ってください。→上記参照 | |
| | 浄水フィルターは取り付けられていますか? 浄水フィルターは奥まで確実に差し込まれていますか? | 浄水フィルターを正しく取りつけてください。→P.8 |
| | 濃度調節レバーの位置は正しいですか? | 濃度調節レバーを正しい位置に合わせてください。→P.5 |

部品の交換・購入について

- 損傷した場合は、新しい部品と交換(有料)してください。
- お買い求めの際には製品の型名および部品名をご確認のうえ、お買い上げの販売店で求めください。(ホームページでのご購入はP.15参照)

| | 部品名 | 部品番号 | |
|-----|--|--------------|--|
| 消耗品 | コーヒーマーカー用浄水フィルター | EC-F03-J | △△表示は部品色柄記号です。 お求めの際は製品の色柄まで ご指定願います。 (側面シールに表示) <表示例> 色柄: BA ブラック TZ グレイッシュブラウン |
| 部 品 | コーヒーマーカー用ガラス容器(ジャグ) | JAGECMA-△△ | |
| | コーヒーマーカー用計量スプーン | BG872010L-01 | |
| 別売品 | パイプ洗浄用クエン酸 (コーヒーマーカークリーナー) (6g×5包入り) | EC-ZA01-J | |

● ガラス容器(ジャグ)には、ガラス容器ふたはついていません。

仕様

| 型 名 | EC-MA60 |
|-------------------|-----------------|
| 電 源 | 交流100V 50/60Hz |
| 消 費 電 力 | 650W |
| 容 量 | 最大使用水量 810mL |
| 方 式 | ドリップ式 |
| コ ー ド の 長 さ | 1.3m(ゴムコード) |
| 外 形 寸 法 (約 c m) | 幅23×奥行15.5×高さ28 |
| 質 量 | 約1.7kg |

- 外形寸法はガラス容器のとっ手を除いた寸法です。
 - 特定地域(高い山・厳寒地など)においては、所定の性能が確保できないことがあります。こうした場所での使用はなるべくお避けください。
 - この製品は、日本国内交流100V専用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。また、アフターサービスもできません。
- This appliance was designed for use in Japan only where the local voltage supply is AC100V and should not be used in other countries where the voltage and frequency vary.
After-sales service for this appliance is not available outside of Japan.
- 此产品只针对日本国内专用交流电压100V所设计。由于各国所使用电压或电源频率不同，请勿用于其它地区。另亦无法对此提供售后维修服务。
- 此產品為針對日本國內專用交流電壓100V所設計。由於各國所使用電壓或電源頻率不同，請勿於其他地區使用。另亦無法對此提供售後維修服務。
- 본 제품은 일본 국내 교류 100V 전용으로 설계되었기에 전압이나 전원 주파수가 상이한 외국에서는 사용할 수 없습니다. A/S 또한 불가능합니다.

アフターサービス

1. 保証書の内容のご確認と保管のお願い

必ず「販売店印およびお買い上げ日」をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

2. 保証期間は、お買い上げ日より1年間

ただし、浄水フィルターは消耗品のため、保証期間内でも「有料」です。

3. 修理を依頼されるとき

「故障かなと思ったとき」(P.13)をご確認のあと、直らない場合は使用を中止し、コンセントから差し込みプラグを抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

<<保証期間中>>

製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容に基づき修理いたします。

<<保証期間を経過しているとき>>

修理すれば使用できる製品は、ご要望により有料修理いたします。

4. 補修用性能部品※の保有期間は製造打ち切り後5年間

※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

「技術料」は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。「部品代」は、修理に使用した部品および補助材料代です。

■お客様ご自身での修理・分解や改造は絶対にしないでください。

お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品ご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。ご転居やご贈答品などで困りの場合は、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。所在地・電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

| | |
|---|--|
| <p>フリーダイヤル 0120-345135 フリーダイヤル</p> <p>受付時間 9:00~17:00 月曜日~金曜日(祝日・弊社休業日を除く)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一部のIP電話など、フリーダイヤルがご利用いただけない電話での問い合わせ……………TEL (06) 6356-2451 (有料) ●FAXでのお問い合わせ……………FAX (06) 6356-6143 (有料) <p>製品の「型名・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・FAX番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。</p> <p>〒530-0043 大阪市北区天満1丁目19番9号</p> | <p>ホームページのご案内</p> <p>象印マホービン お客様サポート https://www.zojirushi.co.jp/toiawase/</p>  |
|---|--|

お客様からご提供いただく「お名前・ご住所・電話番号など」の個人情報、製品のアフターサービスおよびその後の安全点検活動のために、弊社グループ会社および協力会社との間で共同利用させていただきます。ご協力ありがとうございます。